

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	市民センター管理費										担当課	部課名	市民自治部 鶴沼市民センター			
予算科目コード	会計	01	款	02	項	01	目	13	細目	002	説明	01	課等の長	峯 浩太郎	電話	6297

1. 事業概要

事業開始年度	平成 15 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	地域のまちづくりの拠点として、市民センターの機能を果たすために、施設を維持し、行政サービスの提供を図る。						
対象	1. 個人	市民 (鶴沼地区)				56,640 人	
根拠法令等							
事業実施内容	市民センターの機能を維持し、適切な運営管理を行った。						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先 : 株式会社マルム商会) (委託等内容 : 施設総合維持管理業務委託) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 ()						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額	事業費節別内訳		30,327 千円	3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>平成30年度</td> </tr> <tr> <td>正規職員等</td> <td>1.34</td> </tr> <tr> <td>再任用短時・任期付短時職員</td> <td>2.10</td> </tr> <tr> <td>非常勤職員</td> <td>3.10</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>6.54</td> </tr> </table> ※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外) ＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員		平成30年度	正規職員等	1.34	再任用短時・任期付短時職員	2.10	非常勤職員	3.10	合計	6.54
		平成30年度													
	正規職員等	1.34													
	再任用短時・任期付短時職員	2.10													
	非常勤職員	3.10													
	合計	6.54													
	費目	支出済額(千円)	主な事業内容												
	報酬	6,858 千円	非常勤職員報酬												
	需用費	11,707 千円	施設修繕, 光熱水費												
	委託料	9,585 千円	総合管理委託等												
	使用料及び賃借料	1,032 千円	賃借料等												
財源内訳	H30年度 支出済額	事業費節別財源内訳		30,327 千円											
		費目	支出済額(千円)												
		分担金・負担金													
		使用料・手数料	31 千円												
		国庫支出金													
		県支出金													
	その他(諸収入)	385 千円													
	一般財源	29,911 千円													

4. コスト分析

コスト 支出	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	行政費用 A	99,503	80,721	97,384	70,152
	(1)現金を伴う支出 (千円)	81,631	73,186	78,414	51,584
	事業費(支出済額-②報酬合計)	49,995	50,685	49,681	23,469
	償還金利子	0	0	0	0
	人件費合計(①+②+③)	31,636	22,501	28,733	28,115
	職員数(常勤 非常勤)	3.60 2.20	2.60 2.20	4.10 3.10	3.44 3.10
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167
	①職員給与合計(常勤)	23,707	15,080	21,413	20,628
	②報酬合計(非常勤)	6,915	6,877	6,872	6,858
	③退職金相当額	1,014	544	448	629
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	17,872	7,535	18,970	18,568
	①減価償却費	11,065	10,971	19,221	17,652
	②退職給与引当金繰入額	6,807	-3,436	-251	916
	③不納欠損額	0	0	0	0
④その他()	0	0	0	0	
市民1人あたりの負担額 A/人口(円)	236.56 420,619	189.88 425,105	227.80 427,501	163.40 429,317	

成果実績	指標名	目標	-	単位	-	単位	-	単位	-
		実績	-	単位	-	単位	-	単位	-
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		当該事務事業は、届出・相談・証明発行などの窓口業務に要する事務経費、施設の維持・運営に要する修繕・光熱水費等であるため、指標設定になじまない。						
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		-	-	-	-	-	-	-	-

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部日額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部日額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	供用開始（本館：昭和56年度，新館：平成15年度）から時間が相当経過しており，老朽化が進み修繕が現予算では追いつかない状況である。
(2) (1)解決のための今後の取組	今後，配当替えや流用等の柔軟な予算執行が必要と考える。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	地域の拠点として，施設を良好な状態に維持し，市民サービスの提供が図られた。	
	事業の方向性	現状維持
今後の方針	今後も市民センターの機能を果たすために，施設を維持し，行政サービスの提供を図る。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
3	市民組織交付金交付申請書の取次ぎについて	無	無	3	1
4	市民組織役員（変更）届の取次ぎについて	無	無	3	1
5	地域団体予算の支出・収入に関する事	無	無	3	3
9	敬老会の開催に関する事	無	無	3	
25	市民センター使用申請に関する事	無	無	1	2
26	市民センター使用変更申請に関する事	無	無	1	2
27	市民センター使用取消申請に関する事	無	無	1	2
28	市民センター施設修繕に関する事	無	無	1	2
29	市民センター庁舎総合管理業務委託に関する事	無	無	1	3
30	市税その他の収入金の収納に関する事	無	無	3	
31	戸籍の届出受付に関する事	無	無	3	1
32	住所異動届の受付に関する事	無	無	3	1
33	印鑑登録等申請受付に関する事	無	無	3	1
34	住民票等交付申請に関する事	無	無	3	2

35	印鑑登録証明書交付申請に関する事	無	無	3	1
36	戸籍の証明交付に関する事	無	無	3	1
37	住民基本台帳カード内容変更等に関する事	無	無	3	1
38	外国人住民の住居地届出受付に関する事	無	無	3	1
39	特別永住者証明書に関する事	無	無	3	1
40	通知カードに関する事	無	無	3	1
41	個人番号カードに関する事	無	無	3	1
42	国民健康保険の加入等に関する事	無	無	1	3
43	国民年金の加入等に関する事	無	無	1	
44	介護保険の申請受付等に関する事	無	無	3	1
45	後期高齢者医療制度の申請受付等に関する事	無	無	3	1
46	地区福祉窓口相談員の推薦に関する事	無	無	3	1
47	地区福祉窓口相談員の推薦に関する事勤務に関する事	無	無		1
48	障がい福祉制度の申請受付等に関する事	無	無	3	1
49	高齢者福祉制度の申請受付等に関する事	無	無	3	1
50	児童福祉制度の申請受付等に関する事	無	無	3	1
51	特定不妊治療費助成事業申請等の受付に関する事	無	無	3	1
52	所得(課税)証明書・非課税証明書の交付に関する事	無	無	1	
53	納税証明書の交付に関する事	無	無	1	
54	固定資産税証明書の交付に関する事	無	無	1	
55	その他証明の交付に関する事	無	無	1	
56	土地及び家屋の名寄帳の閲覧に関する事	無	無	3	1
57	有償刊行物の頒布の取次ぎに関する事	無	無	1	1
58	選挙管理委員会に対する選挙執行時の補助執行	無	無	3	

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満, レベル2は10%以上30%未満, レベル3は30%以上。
 ※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響, レベル2は部内への影響, レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	市民自治部	氏名	藤本 広巳	確認日	2019/7/31
----	-------	----	-------	-----	-----------

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	地域対策関係費										担当課	部課名	市民自治部 鶴沼市民センター			
予算科目コード	会計	01	款	02	項	01	目	13	細目	003	説明	01	課等の長	峯 浩太郎	電話	6297

1. 事業概要

事業開始年度	平成 10 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	地域における安全対策や緊急的な課題への迅速な対応を図る。						
対象	1. 個人	市民 (鶴沼地区)				56,640 人	
根拠法令等							
事業実施内容	地域の諸課題への応急対策や地域要望による樹木伐採等。						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 (:) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 (:)						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額 297 千円	事業費節別内訳			3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)										
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容											
		需用費	247 千円	施設修繕											
		役務費	50 千円	看板移設											
財源内訳	H30年度 支出済額 297 千円	事業費節別財源内訳			<table border="1"> <tr> <th colspan="2">平成30年度</th> </tr> <tr> <td>正規職員等</td> <td>0.50</td> </tr> <tr> <td>再任用短時・任期付短時職員</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>非常勤職員</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>0.50</td> </tr> </table>	平成30年度		正規職員等	0.50	再任用短時・任期付短時職員	0.00	非常勤職員	0.00	合計	0.50
		平成30年度													
		正規職員等	0.50												
		再任用短時・任期付短時職員	0.00												
		非常勤職員	0.00												
		合計	0.50												
		費目	支出済額 (千円)												
分担金・負担金															
使用料・手数料															
国庫支出金															
県支出金															
その他 ()															
一般財源	297 千円														

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

コスト 支出	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	行政費用 A	6,956	5,334	5,248	5,062
	(1)現金を伴う支出 (千円)	5,254	5,350	5,374	5,116
	事業費(支出済額-②報酬合計)	480	527	540	297
	償還金利息	0	0	0	0
	人件費合計(①+②+③)	4,774	4,823	4,834	4,819
	職員数(常勤 非常勤)	0.50 0.00	0.50 0.00	0.50 0.00	0.50 0.00
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167
	①職員給与合計(常勤)	4,520	4,551	4,610	4,584
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0
	③退職金相当額	254	272	224	235
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	1,702	-16	-126	-54
	①減価償却費	0	0	0	0
	②退職給与引当金繰入額	1,702	-16	-126	-54
	③不納欠損額	0	0	0	0
④その他()	0	0	0	0	
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	16.54	12.55	12.28	11.79	

成果実績	指標名	目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
		実績	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		緊急・応急対応に関する事業のため、指標の設定はできない。							
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		-		-		-		-		-

※1 職員数・・・[常勤]一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部月額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部月額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	迅速な情報収集と現状把握。
(2) (1)解決のための今後の取組	課内での情報共有と連絡体制の確立。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	緊急時の対応及び地域要望に応えることができた。	
	事業の方向性	現状維持
今後の方針	継続して地区内の諸課題に迅速に対応する。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
6	地域市民の相談及び要望の処理並びにこれらに係る連絡調整	無	無	3	3

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	市民自治部	氏名	藤本 広巳	確認日	2019/7/31
----	-------	----	-------	-----	-----------

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	防災訓練等関係費										担当課	部課名	市民自治部 鶴沼市民センター			
予算科目コード	会計	01	款	02	項	07	目	01	細目	002	説明	02	課等の長	峯 浩太郎	電話	6297

1. 事業概要

事業開始年度	不明	年度	終了(予定)年度	未定	年度	事業の性質	任意自治事務									
事業概要	防災体制の強化と地域住民の防災意識の高揚を図るために総合防災訓練を実施する。															
対象	1. 個人	市民 (鶴沼地区)										56,640	人			
根拠法令等	法律等	災害対策基本法														
事業実施内容	訓練項目は、浸水歩行訓練、土嚢づくり、煙体験訓練、救急救命、避難施設体験、瓦礫救出訓練など。 平成30年度は雨天のため中止															
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施															
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先 : 鶴沼地区町内会・自治会連合会)															
	(委託内容 : 地区防災訓練の実施)															
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:)															
<input type="checkbox"/> その他 ()																

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額	事業費節別内訳																
		費目		支出済額 (千円)					主な事業内容									
		委託料		52 千円					鶴沼地区総合防災訓練業務									
		52 千円																
財源内訳	H30年度 支出済額	事業費節別財源内訳																
		費目		支出済額 (千円)														
		分担金・負担金																
		52 千円																
		使用料・手数料																
		国庫支出金																
		県支出金																
その他 ()																		
一般財源		52 千円																

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)	
	平成30年度
正規職員等	1.70
再任用短時・任期付短時職員	0.50
非常勤職員	0.00
合計	2.20

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

コスト 支出	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度			
	行政費用 A	6,528	7,799	23,138	19,038			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	4,826	7,815	19,520	19,221			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	52	52	52	52			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	4,774	7,763	19,468	19,169			
	職員数(常勤 非常勤)	0.50 0.00	1.00 0.00	2.20 0.00	2.20 0.00			
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167			
	①職員給与合計(常勤)	4,520	7,491	18,707	18,371			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	254	272	761	798			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	1,702	-16	3,618	-183			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	1,702	-16	3,618	-183			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	15.52	420,619	18.35	425,105	54.12	427,501	44.34	429,317

成果実績	指標名	地区総合防災訓練参加者数	目標	837	単位	人	658	単位	人	604	単位	人	700	単位	人
			実績	837	単位	人	658	単位	人	604	単位	人	0	単位	人
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由														
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			7,799.28	11,852.58	38,307.95	-									

※1 職員数・・・[常勤]一般職員, 再任用職員, 任期付職員, 嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部日額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部日額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し, 事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1)	平成30年度末時点の課題	訓練のマンネリ化を防ぐ。
(2)	(1)解決のための今後の取組	訓練内容の見直しを図る。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	平成30年度は雨天のため中止となったが, 準備を通して住民の防災意識の高揚が図られた。	
	事業の方向性	現状維持
今後の方針	継続して防災訓練を実施し, 防災体制の強化と住民の防災意識を高める。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
17	地区防災拠点本部会議の開催について	無	無		3
18	地区総合防災訓練の開催について	無	無	3	3
19	自主防災組織防災資機材購入奨励補助金申請の取次に関する事	無	無	1	

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満, レベル2は10%以上30%未満, レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響, レベル2は部内への影響, レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	市民自治部	氏名	藤本 広巳	確認日	2019/7/31
----	-------	----	-------	-----	-----------

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	緑の広場設置事業費(地域執行分)										担当課	部課名	市民自治部 鶴沼市民センター			
予算科目コード	会計	01	款	03	項	01	目	02	細目	002	説明	02	課等の長	峯 浩太郎	電話	6297

1. 事業概要

事業開始年度	平成 15 年度	終了(予定)年度	平成 30 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	市内に散在する空閑地を借地して、市民の憩いの場として開放し、災害時の一時避難場所とするなどの有効活用を図り、良好かつ快適な生活環境を図るための維持管理を実施するもの。 (鶴沼地区 13緑の広場)						
対象	1. 個人	市民(鶴沼地区)					56,640 人
根拠法令等	その他(要綱等) 藤沢市緑の広場の確保に関する要綱						
事業実施内容	地域住民の憩いの場として緑の広場の適正な管理を実施するため、定期的な草刈りや除草、施設の維持管理を実施するもの。						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先: 有限会社アイ・グリーン) (委託等内容: 緑の広場の草刈業務) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 () <input type="checkbox"/> その他 ()						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額 3,858 千円	事業費節別内訳			3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)	
		費目	支出済額(千円)	主な事業内容		
		需用費	1,249 千円	施設修繕費		
		役務費	1,011 千円	手数料		
財源内訳	H30年度 支出済額 3,858 千円	事業費節別財源内訳			平成30年度	
		費目	支出済額(千円)		正規職員等	0.15
		分担金・負担金			再任用短時・任期付短時職員	0.00
		使用料・手数料			非常勤職員	0.00
		国庫支出金			合計	0.15
		県支出金			※正規職員等=正規職員+再任用職員(短時以外) +任期付職員(短時以外)+常勤嘱託職員	
		その他()				
一般財源	3,858 千円					

4. コスト分析

コスト 支出	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度			
	行政費用 A	10,629	9,033	4,513	5,287			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	8,927	9,049	5,731	5,303			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	4,153	4,226	4,281	3,858			
	償還金利子	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	4,774	4,823	1,450	1,445			
	職員数(常勤 非常勤)	0.50 0.00	0.50 0.00	0.15 0.00	0.15 0.00			
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167			
	①職員給与合計(常勤)	4,520	4,551	1,383	1,375			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	254	272	67	70			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	1,702	-16	-1,218	-16			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	1,702	-16	-1,218	-16			
③不納欠損額	0	0	0	0				
④その他()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口(円)	25.27	420,619	21.25	425,105	10.56	427,501	12.31	429,317

成果実績	指標名		目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
	実績			-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		緑の広場の維持管理を目的とした事務事業のため、指標の設定はできない。								
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)				-		-		-		-	

※1 職員数・・・[常勤]一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部月額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部月額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	緑の広場の施設は全体的に老朽化が進んでおり，広場区域の境界であるフェンス等施設も老朽化が進み，修繕予算には限りがあるので，緑の広場のあり方について検討が必要。
(2) (1)解決のための今後の取組	今後，要綱や管理方針の検討を公園課と進め，緑の広場として必要があるならば，改修等に向けての予算化が必要と考える。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	緑の広場利用者が安全で快適に利用できる環境の維持管理が図られた。	
今後の方針	事業の方向性	休止・廃止・完了
	緑は市民の安全で快適な生活を支え，潤いを与えてくれるものである。今後も緑の広場設置事業を実施することにより，緑の防災機能や景観機能，環境保全機能，レクリエーション機能の向上を図る。また，令和元年度からは，地域執行分の事業としてではなく，公園課が全市的な視点に基づいて実施する。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
16	緑の広場の維持管理に関すること	無	無	3	3

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	市民自治部	氏名	藤本 広巳	確認日	2019/7/31
----	-------	----	-------	-----	-----------

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	公園管理事業費(地域執行分)										担当課	部課名	市民自治部 鶴沼市民センター			
予算科目コード	会計	01	款	09	項	04	目	04	細目	002	説明	02	課等の長	峯 浩太郎	電話	6297

1. 事業概要

事業開始年度	平成 15 年度	終了(予定)年度	平成 30 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	公園利用者の利便性と安全性を堅持し、みどり豊かな都市環境の向上を図り、市民に潤いと憩いの空間を提供するため、公園内の樹木剪定や草刈りなど定期的な維持管理を実施するもの。(鶴沼地区 32公園)						
対象	1. 個人	市民(鶴沼地区)			56,640 人		
根拠法令等	法律等	都市公園法・都市公園法施行令・都市公園法施行規則・藤沢市都市公園条例・藤沢市都市公園条例施行規則					
事業実施内容	1 公園内の定期的な維持管理 2 公園内の遊器具及び施設の修繕						
事業実施手法(該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先 : 株式会社佐野造園土木) (委託等内容 : 公園の維持(樹木剪定, 草刈, 清掃等)) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 ()						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額 36,056 千円	事業費節別内訳													
		費目	支出済額(千円)	主な事業内容											
		需用費	8,688 千円	施設修繕費											
		役員費	2,325 千円	手数料											
財源内訳	H30年度 支出済額 36,056 千円	事業費節別財源内訳			3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>平成30年度</td> </tr> <tr> <td>正規職員等</td> <td>0.30</td> </tr> <tr> <td>再任用短時・任期付短時職員</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>非常勤職員</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>0.30</td> </tr> </table> ※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外) ＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員		平成30年度	正規職員等	0.30	再任用短時・任期付短時職員	0.00	非常勤職員	0.00	合計	0.30
			平成30年度												
		正規職員等	0.30												
		再任用短時・任期付短時職員	0.00												
		非常勤職員	0.00												
		合計	0.30												
分担金・負担金															
使用料・手数料	180 千円														
国庫支出金															
県支出金															
その他 ()															
一般財源	35,876 千円														

4. コスト分析

コスト 支出	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	行政費用 A	36,116	36,031	32,740	39,071
	(1)現金を伴う支出 (千円)	34,414	36,047	33,646	38,947
	事業費(支出済額-②報酬合計)	29,640	31,224	31,229	36,056
	償還金利息	0	0	0	0
	人件費合計(①+②+③)	4,774	4,823	2,417	2,891
	職員数(常勤 非常勤)	0.50 0.00	0.50 0.00	0.25 0.00	0.30 0.00
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167
	①職員給与合計(常勤)	4,520	4,551	2,305	2,750
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0
	③退職金相当額	254	272	112	141
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	1,702	-16	-906	124
	①減価償却費	0	0	0	0
	②退職給与引当金繰入額	1,702	-16	-906	124
	③不納欠損額	0	0	0	0
④その他 ()	0	0	0	0	
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	85.86 420,619	84.76 425,105	76.58 427,501	91.01 429,317	

成果実績	指標名	目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
		実績	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		公園の維持管理を目的とした事務事業のため、指標の設定はできない。							
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)				-	-	-	-	-	-	-

※1 職員数・・・[常勤]一般職員, 再任用職員, 任期付職員, 嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部日額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部日額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し, 事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	供用開始から時間が相当経過した公園数が多く, 老朽化した公園施設の補修が現予算では追いつかない状況である。同様に樹木の生長が非常に著しく未剪定箇所が多いため, 周辺の民地や近隣への影響が差し迫っている状況である。
(2) (1)解決のための今後の取組	今後, 維持管理方針や水準を見直す必要がある。具体的には, 樹木の絶対数を減らす伐採の検討や, 危険度に応じた改修施設の優先順位付けを行い, 長寿命化計画と併せた総合的な対応を検討する取組が必要と考える。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	公園利用者が安全で快適に利用できる環境をつくった。	
今後の方針	事業の方向性	休止・廃止・完了
	公園利用者の利便性と安全性を確保するため, 公園内の樹木や施設などの適切な維持管理を継続して実施する。また, 令和元年度からは, 地域執行分の事業としてではなく, 公園課が全市的な視点に基づいて実施する。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
27	街区公園管理業務委託に関する事	無	無	3	3
30	公園の修繕に関する事	無	無	3	3

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満, レベル2は10%以上30%未満, レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響, レベル2は部内への影響, レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	市民自治部	氏名	藤本 広巳	確認日	2019/7/31
----	-------	----	-------	-----	-----------

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	公園愛護会育成費(地域執行分)										担当課	部課名	市民自治部 鶴沼市民センター			
予算科目コード	会計	01	款	09	項	04	目	04	細目	002	説明	04	課等の長	峯 浩太郎	電話	6297

1. 事業概要

事業開始年度	平成 15 年度	終了(予定)年度	平成 30 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	街区公園等の管理(清掃・除草等)を地域住民の協力を得て行うため、公園愛護会(市民により構成される団体)設立を奨励し、地域による公園自主管理組織を育成する。						
対象	1. 個人	市民(鶴沼地区)			56,640	人	
根拠法令等	その他(要綱等) 藤沢市公園愛護活動実施要綱						
事業実施内容	鶴沼地区内公園愛護会への助成						
事業実施手法(該当するもの全てにチェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 (:) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input checked="" type="checkbox"/> その他 (交付金:公園愛護会)						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額	事業費節別内訳		
		費目	支出済額(千円)	主な事業内容
		負担金補助及び交付金	897 千円	公園愛護会連絡協議会交付金
		897 千円		
財源内訳	H30年度 支出済額	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額(千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他()		
一般財源	897 千円			

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)	
	平成30年度
正規職員等	0.10
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	0.10

※正規職員等=正規職員+再任用職員(短時以外)+任期付職員(短時以外)+常勤嘱託職員

4. コスト分析

コスト 支出	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	行政費用 A	7,325	5,656	-158	2,006
	(1)現金を伴う支出 (千円)	5,623	5,672	1,372	1,861
	事業費(支出済額-②報酬合計)	849	849	889	897
	償還金利息	0	0	0	0
	人件費合計(①+②+③)	4,774	4,823	483	964
	職員数(常勤 非常勤)	0.50 0.00	0.50 0.00	0.05 0.00	0.10 0.00
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167
	①職員給与合計(常勤)	4,520	4,551	461	917
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0
	③退職金相当額	254	272	22	47
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	1,702	-16	-1,530	145
	①減価償却費	0	0	0	0
	②退職給与引当金繰入額	1,702	-16	-1,530	145
	③不納欠損額	0	0	0	0
④その他()	0	0	0	0	
市民1人あたりの負担額 A/人口(円)	17.41 420,619	13.30 425,105	-0.37 427,501	4.67 429,317	

成果実績	指標名	愛護会数	目標	16	単位 団体	16	単位 団体	17	単位 団体	17	単位 団体	
			実績	16	単位 団体	16	単位 団体	17	単位 団体	17	単位 団体	
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由											
	実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		457,812.50	353,500.00	-9,294.12	118,000.00						

※1 職員数・・・[常勤]一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員（一部日額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬（一部日額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	公園愛護会会員の高齢化が進んでいる状況で，解散する団体や，また愛護会の活動自体だけではなく，交付金申請書類等の事務手続きが煩雑であることから，会員への負荷となっている状況。
(2) (1)解決のための今後の取組	公園愛護会制度について，書類の簡素化や制度自体の活動内容などの再検討を行い，「制度のあり方」について見直しを図ることが必要。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	公園愛護会へ助成することにより，公園管理の助力となった。	
今後の方針	事業の方向性	休止・廃止・完了
	公園愛護会制度が市民との協働による公園管理の助力となっているので，維持する。また，令和元年度からは，地域執行分の事業としてではなく，公園課が全市的な視点に基づいて実施する。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
31-①	公園愛護会の設立に関すること	無	無	1	1
31-②	公園愛護会交付金の交付に関すること	無	無	3	3

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	市民自治部	氏名	藤本 広巳	確認日	2019/7/31
----	-------	----	-------	-----	-----------

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	公園改修費(地域執行分)										担当課	部課名	市民自治部 鶴沼市民センター			
予算科目コード	会計	01	款	09	項	04	目	04	細目	002	説明	06	課等の長	峯 浩太郎	電話	6297

1. 事業概要

事業開始年度	平成 24 年度	終了(予定)年度	平成 30 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	地域主体のまちづくりを推進するため、地域の特性や個性を生かしながら、各地区でそれぞれの事業に取り組むもの。						
対象	1. 個人	市民(鶴沼地区)					56,640 人
根拠法令等							
事業実施内容	鶴沼地区のまちづくりのテーマ「緑と海と人が輝くまち『湘南ふじさわ鶴沼』」を実現するため、地域力を活かした様々なまちづくり活動・事業を行うことにより、地域の特性に応じたまちづくり推進のため必要である。						
事業実施手法(該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 (:) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 ()						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額	事業費節別内訳		2,037 千円	施設修繕費										
		費目	支出済額(千円)			主な事業内容									
		需用費	2,037 千円												
財源内訳	H30年度 支出済額	事業費節別財源内訳		2,037 千円	3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>平成30年度</td> </tr> <tr> <td>正規職員等</td> <td>0.11</td> </tr> <tr> <td>再任用短時・任期付短時職員</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>非常勤職員</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>0.11</td> </tr> </table>		平成30年度	正規職員等	0.11	再任用短時・任期付短時職員	0.00	非常勤職員	0.00	合計	0.11
		平成30年度													
	正規職員等	0.11													
	再任用短時・任期付短時職員	0.00													
	非常勤職員	0.00													
	合計	0.11													
	費目	支出済額(千円)													
	分担金・負担金														
	使用料・手数料														
	国庫支出金														
	県支出金														
	その他()														
	一般財源		2,037 千円												

	平成30年度
正規職員等	0.11
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	0.11

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

コスト支出	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度			
	行政費用 A	6,241	6,712	858	3,272			
	(1)現金を伴う支出(千円)	6,343	6,728	2,388	3,097			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	1,569	1,905	1,905	2,037			
	償還金利子	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	4,774	4,823	483	1,060			
	職員数(常勤 非常勤)	0.50 0.00	0.50 0.00	0.05 0.00	0.11 0.00			
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167			
	①職員給与合計(常勤)	4,520	4,551	461	1,008			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	254	272	22	52			
	(2)現金を伴わない支出(千円)	-102	-16	-1,530	175			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	-102	-16	-1,530	175			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他()	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口(円)	14.84	420,619	15.79	425,105	2.01	427,501	7.62	429,317

成果実績	指標名	公園改修数	目標	2	単位	1	単位	2	単位	2	単位	2
					箇所		箇所		箇所		箇所	
	実績	2	単位	1	単位	2	単位	2	単位	2	単位	2
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由											
	実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		3,120,500.00	6,712,000.00	429,000.00	1,636,000.00						

※1 職員数・・・[常勤]一般職員, 再任用職員, 任期付職員, 嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部日額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部日額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し, 事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	公園内の老朽化した公園遊具, フェンス・ベンチといった施設の改修や健康遊具充実・活用計画の実施による施設配置位置等を考慮するなど総合的な改修計画が必要。
(2) (1)解決のための今後の取組	公園課が行う公園遊具保守点検, 公園パトロール点検を通し危険度に応じた改修優先順位付けの検討, 長寿命化計画と併せた総合的な対応を検討。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	高齢者, 障がい者等の社会生活における移動上及び施設利用上の利便性の向上を図るための事業であり, 特に車イス使用者でも水飲み場に近づきやすくなった。今後とも, 誰もが利用しやすい施設として, 継続した事業実施が必要である。
今後の方針	<p>事業の方向性 休止・廃止・完了</p> <p>令和元年度からは, 地域執行分の事業としてではなく, 公園課が郷土づくり推進会議の提言を踏まえた上で, 全市的な視点に基づいて実施する。</p>

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
13	公園の修繕に関すること	無	無	3	3

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満, レベル2は10%以上30%未満, レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響, レベル2は部内への影響, レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	市民自治部	氏名	藤本 広巳	確認日	2019/7/31
----	-------	----	-------	-----	-----------